

市内56カ所の放射線量率一覧表(保育園・幼稚園・小中学校・高校・公園など)

毎月第2・第4火曜日と同週の木曜日に測定している市内56カ所の放射線量率について、前回との比較ができるよう掲載しています。また、除染状況や取り組み、数字の意味なども随時お知らせします。

※8月16日から新たに、ひたち野うしく保育園つくしんぼの測定を始めました。(単位:マイクロシーベルト/時)

施設名	測定日		測定 の 高 さ			
	7/24・26	8/14・16				
保育園	中央保育園	0.109	0.098	0.5m		
	上町保育園	0.142	0.163			
	つつじが丘保育園	0.098	0.094			
	向原保育園	0.081	0.084			
	栄町保育園	0.129	0.129			
	下根保育園	0.131	0.136			
	つばめ保育園	0.117	0.113			
	つばめ保育園牛久駅前分園	0.092				
	ふたばランド保育園	0.125	0.119			
	つつじが丘ふたばランド保育園	0.092	0.104			
	牛久保育園	0.121	0.111			
	牛久ひかり保育園	0.154	0.144			
	牛久ふれあい保育園分園	0.165	0.152			
	ひたち野うしく保育園つくしんぼ		0.071			
幼稚園	第二幼稚園	0.140	0.136	0.5m		
	かわい幼稚園	0.165	0.154			
	牛久幼稚園	0.131	0.134			
	ひたち野牛久幼稚園	0.148	0.131			
	こぼと幼稚園	0.096	0.096			
	フレンド幼稚園	0.094	0.094			
	牛久文化幼稚園	0.111	0.111			
	牛久教会こどものいえ幼稚園	0.098	0.096			
	小学校	牛久小学校	0.167		0.127	0.5m
		岡田小学校	0.161		0.138	
奥野小学校		0.125	0.121			
牛久第二小学校		0.194	0.173			
中根小学校・第一幼稚園		0.134	0.144			
向台小学校・牛久ふれあい保育園		0.169	0.123			
神谷小学校		0.109	0.111			
ひたち野うしく小学校		0.096	0.127			

施設名	測定日		測定 の 高 さ	
	7/24・26	8/14・16		
中学校	牛久第一中学校	0.169	0.134	1m
	牛久第二中学校	0.169	0.157	
	牛久第三中学校	0.115	0.108	
	下根中学校	0.134	0.134	
	牛久南中学校	0.152	0.132	
高校	牛久高校	0.134	0.144	1m
	東洋大学附属牛久高校	0.177	0.161	
	牛久栄進高校	0.127	0.121	
その他	こども発達支援センターのぞみ園	0.182	0.150	0.5m
	神谷小さくら台児童クラブ	0.180	0.180	
	教育センターさぼうの広場	0.180	0.179	1m
	牛久クリーンセンター	0.173	0.159	
	牛久自然観察の森	0.194	0.202	
公園	ひたち野みずべ公園	0.205	0.184	0.5m
	ひたち野さくら公園	0.204	0.202	
	ひたち野おやま公園	0.240	0.240	
	刈谷第1街区公園	0.148	0.144	
	本町第1街区公園	0.150	0.136	
	田宮東街区公園	0.090	0.081	
	みどり野第1街区公園	0.092	0.090	
	小坂第1街区公園	0.086	0.083	
	柏田第2街区公園	0.069	0.071	
	栄町第1街区公園	0.073	0.071	
	牛久運動公園	0.161	0.154	
	牛久運動広場	0.148	0.140	
	奥野運動広場	0.163	0.169	

※測定器:エネルギー補償型ガンマ線用シンチレーションサーベイメータ TCS-172B (日立アロカメディカル(株))を使用。
 ※測定の高さ:小学生以下の子どもが多く利用する施設は地上0.5m、その他施設は地上1mの高さで測定しています。

■追加被ばく線量の低下のために...

市は「年間1ミリシーベルト以下=毎時0.23マイクロシーベルト以下」を目指します。

(環境省が長期的に達成すべき目標としている値)

※既に除染済みの施設に加え、公園や毎時0.23マイクロシーベルト(地上1m)以上の施設は、順次除染を行う予定です。

●放射線の基礎【第5回】「リスク評価」科学的に証明されている自然放射線

人類は、地球の誕生以来、宇宙から地球に降り注いでいる宇宙線や大地、飲食物などからの放射線を受けてきました。これらを「自然放射線」といい、私たちは、年間一人当たり約1.5ミリシーベルト(日本平均)の自然放射線を受けています。内訳は、大地から0.4ミリシーベルト、宇宙から0.3ミリシーベルト、空気から0.6ミリシーベルト、食べ物から0.2ミリシーベルトといわれています。今回は食品検査で検出されるカリウムについてお話しします。カリウムは生物に必須の元素であり、体重50kg程度の人では約100g持っています。この100g内の0.01%が放射性のカリウム(K40)です。体の中のカリウム量は、代謝により一定に保たれます。すなわち、カリウム(K40)を多く含む食材を食べても代謝により体の外へ排泄されます。

今回は「リスク評価」放射線の人体への影響です。

問 放射能対策室(環境政策課内) ☎内線1568、1569